

## 2023年度 第6回定例理事会議事録

日 時:2023年8月17日(木) 15:00-17:00

場 所: ピアマリン1階 日本人会ミーティングルーム (Web参加あり)

会議出席者:(理事) 権田、久住、スミス、山浦、野口、伊藤慎太郎、山口、須永、井上、今津  
※リモート参加 富江、長藤、ペレズ、渡辺・ドミンゴ、デリグイン、渡辺

欠席者: 時任

傍聴: 事務局2名

議 題:

1. 2023年度活動計画並び予算案報告
  - (1) 教育部
  - (2) 青年部
  - (3) 文化・商工部
  - (4) 渉外広報部
  - (5) 総務部
  - (6) 会計部
2. 総領事館より
3. その他

(権田会長からご挨拶)

8月13日の慰霊塔の清掃お疲れさまでした。雨の中ではありませんでしたが、79名の方にご参加を頂き、大変にありがたいことだと思います。更に大きな活動として秋祭りが約3か月後に控えているが、皆でこちらを成功させるために頑張っていきたいと思います。

(教育部) 時任部長欠席

野口副会長一時任部長からの報告書によると日本人学校の財政は非常に厳しい状況ではあるが、ある程度の目途が立ったとの報告があった。詳細についてはコンフィデンシャルな情報もあり説明は控えることとする。

権田会長一昨年の秋祭りの寄付の5万ドルが数字の上で計上されていなかった事と高給の先生の退職などもあり、経費の削減が出来ている。体育館建設費用のローン残金の約50万ドルのリファイナンスについては検討中。2028年で返済が終了する予定が更に5年延びることになるが、現状の厳しい状況を少し先に延ばして観光業の景気回復を待ち、生徒人数の増加などに期待したい。

・現在の状況としては夏休みが終わり、補習校は既に始まっている。全日制の方もまもなく始まる。現在、全日制が40名、補習校も45名ぐらい。合計で140名が採算ベースなのでその人数を目指す。授業料の値上げも検討。生徒数が減ると派遣教員の数も減ることになる。

・先日、時任部長と渡辺さんが全国事務長会に参加し、参考になる点があった。どこも同じような財政

難などの問題を抱えているが、企業協賛により支えられている。

・幼児部ではサポートする先生が必要。文科省に依頼して大学の研修生をグアムに派遣してもらうことも検討。現在、幼稚部は16名。

(質疑応答)

パブリックヘルスからの指摘事項についての改善状況はどうか？

→網戸やシャワーの設置など未対応の部分も残っているが、当初の指摘事項の64点から30点まで改善されている。来年の6月までに全て改善する。

(青年部)富江部長

(報告事項)

- ・8月10日に秋祭りの実行委員会が開催された。
- ・食品ブースについて1社からキャンセルがあった。前年1万9千食に対して現在、1万8千900食。
- ・スンサーについては去年が12万2千ドル、現在2万から3万ドルではあるが、前年同月比で見るとペースは上回っている。
- ・費用削減についてスポンサー、食品による収入の金額が見えない中で費用が一番かかる設営に関して再検証を行う必要がある。大谷さんからのブース利用申込書については9月2日までに提出と書かれているが8月24日までに設営チームに送付して頂きたい。設営チームと内容を精査する。
- ・来年以降への提案としてキャッシュベースでの計上を止めて発生主義での記帳を行うことにより比較検証が可能になる。
- ・9月14日第4回実行員会と懇親会を予定。
- ・今年は食品出店以外は受けない。
- ・秋祭りのテーマ「繋ぐ」に対して英語のサブタイトルが「Connecting to the future」に決定。

(確認事項)

・食品ブースについてアプローチする上でアプローチしてはいけないお店などはあるのか？

→メニューがバッティングしないようであれば柔軟に対応しても良い。

現在、18,900食を確保している。おそらく2万食は確保できると思う。2万5千食を目指す必要あり。

野口副部長ーGHRA とのミーティングを行った。GHRA のルートを使って店舗を募集することも検討できる。GHRA はイベントのコーディネーターも行っている。将来的にお願いする場合でも GHRA のイベントになってしまわない様に慎重に話を進める必要がある。

・将来的には会場の再利用について日本人会祭りの前後でローカルにイベントのセッティングを貸し出すことにより費用を折半できる。また、複数年に渡って使えるものは再利用する。

(質疑応答)

野口副会長ースポンサーについて3千ドル以上のスポンサーさんへのアプローチが出来ていない。時任副会長の体調不良もあり、権田会長と野口副会長でカバーしているが、理事の中でスポンサー一覧表からいけるところがあれば、申し出て頂きたい。

須永さんーボランティアからフェスティバルメイトへの呼称変更についてフェスティバルメイトと呼ぶ

称を司会者にも使うのか？

→司会についてはセミプロ、プロを募集するわけではなく、若い方にも挑戦して頂きたいという観点がある。募集には「司会者は無償ボランティアになります」の文言を記載することとする。

・お祭りTシャツについて今年も作成するのか？

→Tシャツ費用は10～20ドル、腕章の場合は2～3ドル。腕章のサンプルを取り寄せて判断。

(文化商工部)ペレズ部長

8月13日(日)に南太平洋戦没者慰霊公苑の清掃が実施された。79名の参加者があった。慰霊公苑の清掃に関しては雨が強くなったので清掃時間を短縮して行った。法話と黙とうを御堂の中で行った。その後、慰霊塔前で集合写真を撮影して終了。激戦地に移動し、雨も上がったので清掃、法話、黙とうを行った。その後のアガットでは軽食を配布した。当日の軽食はピースリング、SPEさんよりご提供があった。日本人会からは献花、供え物を提供した。怪我、事故なく終了することが出来た。反省点としてウェーバーフォームを作成して参加者に署名を取っておくべきだった。また、アガット慰霊塔の場所が分からない参加者がいたので、先に到着した理事が道路わきで誘導するべきだった。

・ハロウィーンパレードについては10月を予定している。運営方法については来週に部内で審議することになっている。来月の理事会で報告する。

・アートアンドクラフトフェアについては7月後半にパイヤクラブ主催者の天畠さんとサークルの活動状況を確認する意味でミーティングを行った。各サークルの方がどのような形で参加できるのか聞き取り調査を行っている。部内で話し合いをして報告する。

・セミナーについては会員にアンケートを取り、どのようなセミナーが必要なのか確認する。

以上。

(質疑応答)

野口副会長ーペレズ部長からも報告があった通り、今回の慰霊公苑清掃では天気が悪かったこともあり、ウェーバーフォームはあった方が良かった。

須永さん→過去にハロウィーンパレード、またはお祭りのボランティアからウェーバーを貰ったことがあり、フォームは日本語と英語で持っている。必要な場合はお知らせください。

(渉外広報部)山口部長

・渉外広報部からの活動については報告書にある通り。

・明日、編集会議を行うが今後HPに掲載する内容として、先日の慰霊公苑清掃のご報告についてはペレズ部長にお願いしたい。秋祭りのスローガン「繋ぐ」についての記事は富江部長にお願いしたい。

以上。

(質疑応答)

特になし。

(総務部)野口部長

- ・事務局のパーカーきみこさんの後任の許なつこさんが紹介された。
  - ・会費の徴収については現時点で法人会員からは69社が継続を申請、金額にして\$ 53, 630。個人会員は84名から継続の申請があった。
  - ・新会員としてハイアットリージェンシーグアム、ザツバキタワー、星野リゾートグアム。
  - ・会員名簿の作成について既に継続の意思のあった企業、個人についてはアップデート終了。
  - ・会員カードについて告知が遅れているが、来週早々には会員カードを発行する。
- 権田会長—東京マートで現金購入時の5%ディスカウントはデデドペイレス内の東京マートデリは対象外となる。
- ・会員証に必要な情報は？ Expiration Date の記載は必要。
  - ・事務局について雇用関係の契約書の作成、就業規則の作成を行う。雇用契約書については作成済みなので確認して頂いてご意見を伺いたい。

(その他)

- ・レバレーションデイのパレードは中止されたが、セレモニーが開催され権田会長、時任副部長、野口副部長で参加した。その時にサバイバーのスティーブさんのお母様がスピーチをされ、とても良いお話だったので記事をお願いしている。
  - ・以前の理事会で日本国籍を有しない且つ日系企業所属でもない且つ日本人配偶者でもない方からの入会希望者についてお会いして話を伺う件について理事会から一任をさせて頂いているが、その後連絡が取れない状態となっており、お会いできていない。
- 以上。

(質疑応答)

須永さん—就業規則についてコンフィデンシャル、守秘義務についての規則はあった方が良いのでは？

→確認する。

(会計部)井上部長

7月末時点の会計報告として2023年度の収入は\$ 30, 528、支出が\$ 18, 140 となり、収支としては\$ 12, 388 のプラスとなっている。

以上。

(質疑応答)

野口副会長—日本人会のチャリティーゴルフについては1月21日(日)タロフォフォでの開催を予定している。

権田会長—先日サイパンに行く機会があり、秋祭り関連でサイパンから昨年度同様に阿波踊りで参加したい旨のお話を頂いた。航空運賃の高騰により参加人数は減る可能性がある。阿波踊りで使用するうちわの制作費用について秋祭りの予算からサポートを頂きたいとの依頼があった。